

三重大学血液内科 学術研究に関するお知らせ

悪性リンパ腫の表面マーカーに関する研究

この研究は、リンパ腫の診断の際に行う表面マーカー(細胞表面にある蛋白質)検査の結果と患者様の症状や検査データ、治療の効果を事後に比較検討することにより、将来の診断や治療に有用な表面マーカーをみつけることを目的としています。

当科にて 1987-2002 年に悪性リンパ腫の診断のための検査を受けられた患者様へ

当院は患者様の治療を最優先としておりますが、同時に医学の発展を目的とした教育、研究の機能も担っております。

血液内科では、治りにくいリンパ腫を治療前に予測する因子、および新しい治療に関する研究を続けており、患者様に貢献できるよう努力しております。

当科では診療業務の一環として、リンパ腫患者様の診断のために採取したリンパ腫組織(生検リンパ節など)の一部を、患者様の治療選択、あるいは新しい診断・治療法が発見された場合に備えて凍結保存を行っています。

研究の内容、方法について

この研究では、1987年-2002年に採取、保存しておりますリンパ腫組織の一部を用いて、新しい治療や将来の診断法に有望と考えられる表面マーカーを、免疫組織染色またはフローサイトメトリーという方法で解析します。

保存検体は、リンパ腫の種類(病型)、リンパ腫に関連した症状、臨床検査データ、年齢、性別の情報を付与し、匿名化、番号化したうえで、研究に使用いたします。結果については、基本的には個人名との照合はいたしません。ただし、患者様の希望があれば検査結果をお伝えします。なお、この研究に関し、患者様の費用負担は一切ありません。

この研究の内容および方法は、当学倫理委員会での厳正な審査の結果承認が得られ、実施について当学医学系研究科長の承認を得ています。ご自分の検体をこの研究に使用してほしくないとお考えの患者様は、下記の連絡先までご連絡をお願い申し上げます。検体の使用にあたっては、患者様およびご家族に診療上の不利益などが一切生じないよう、以下のことを厳守いたします。

- 医学研究以外には使用しない
- 患者様およびご家族の氏名は公表しない。個人情報厳密に守秘する。
- 研究結果は学会、研究会、学術論文以外では発表しない
- いつでも同意は撤回可能であり、それによって患者様に不利益を及ぼすことはない

連絡先、この研究の研究責任者

三重大学医学部附属病院血液内科 講師 山口 素子
住所 〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174
電話 059-231-5016 FAX 059-231-5200